2019年度事業報告

水前寺活性化プロジェクトチーム

【自主事業】

1. 定例会（毎月第二水曜日18：30～）玄宅寺にて　12回

関係者間の情報共有　毎回の参加者30～40名

1. 「閻魔まつり」7/16

目的）　地域の子どもたちに伝統行事に親しんでもらう。

　　会場）　玄宅寺（本堂及び駐車場）　　参加者　500名

　　内容）　玄宅寺に伝わる江戸時代の地獄絵図11幅のご開帳

　　　　　　子供向けのお住職の話と紙芝居

　　　　　　子供縁日

1. 「藻器堀川清掃」10/5（7/14予定が雨天延期）

目的）　街中にある豊かな湧水の魅力を維持し、関心をもってもらう。

　場所）　水前寺参道入口～宮園橋　　　参加者30名

　プロジェクトメンバーに加え、地元銀行や学生のボランティア参加を得て実施

1. 「お月見コンサート」10/14

目的）　中秋の名月とともに成趣園の夜の風情を楽しむ機会を提供し、広く園に親しんでもらう。

場所）　水前寺成趣園内能楽殿　　　参加者2500名

内容）　野本秀一　Swing And Soulジャズコンサート

 　水前寺魅力発信動画完成披露

＆　パフォーマンスユニットmarbleによる「水前寺こいおどり」

飲食バザー

1. 肥後の伝統野菜「水前寺菜」のブランド化

目的）　健康増進効果に優れた「水前寺菜」を広く知ってもらい、ブランド化する。

活動）　成趣園内のモデル圃場で栽培し、参道等で販売。レシピを勉強。

1. 「水前寺かいわい100ヶ所めぐり」＜新規事業＞

　　　目的）　成趣園や上江津湖の界隈の歴史，文化、自然の価値を再発見し、広く発信することで、住民の地元愛を醸成し、また新たな観光資源とする。

活動）・水前寺かいわいの隠れた名所旧跡などの魅力ポイントを調査。紹介マップ1000部を作成して要所で配布。

・地元の価値を住民が知る機会として歴史講演会「水前寺かいわい昔ものがたり」を開催。（会場　玄宅寺本堂）

　　　　　　（第1回）「文教のまち水前寺の魅力」9/25　　参加者140名

講師　熊本市文化振興課文化財保護主事　松永直輝氏

　　　　　　（第2回）「水前寺・江津湖の魅力と価値」10/23　　参加者80名

　　　　　　　　　　講師　熊本県立図書館/くまもと文学・歴史館学芸課長　丸山伸治氏

　（第3回）「資料でたどる水前寺かいわいアレコレ」11/16　　参加者70名

　　　　　　　　　　　講師　熊本博物館学芸員　木山貴満氏

・「水前寺かいわい100ヶ所めぐり」写真展を開催　3/2～3/27

　 　　　　　 （会場）レストランみなみの風

　　 ・講話と園内ツアー「細川家と成趣園」3/7　➡　コロナ感染拡大で急遽中止

　　　　　　　（会場）玄宅寺（講話）と水前寺成趣園（現地ツアー）

　 　　　　　　　　 講師　熊本県文化協会名誉会長　吉丸良治氏

1. ラグビーチーム歓迎行事　9/26　＜単発事業＞

ラグビーワールドカップ開催に伴い、必勝祈願で水前寺成趣園（出水神社）を来訪したフランスチーム一行を歓迎し、日本文化体験として商店街と共同で餅つきを実施

　　会場）　水前寺参道　参加者80名

【水前寺まつり事業】「水前寺まつり実行委員会」事務局として、下記の実務を担当

1. 水前寺まつり実行委員会　　4回　　同企画会議　4回
2. 「水前寺まつり2020」　　3/28・29　➡　コロナ感染拡大のため急遽中止

　会場）　水前寺成趣園、水前寺江津湖公園

　内容）　古典芸能競演、子ども古今伝授、お茶お点前、高校生俳句吟行会、

伝承遊びと縁日、 細川流盆石展、物産展、ステージ発表、植木市

特別講演「細川幽斎と明智光秀」

講師　熊本大学永青文庫研究センター長　稲葉継陽氏

【その他】

1. 出水神社（成趣園管理者）主催「水前寺こいあかり」の竹あかりオブジェ製作協力

　1/11～2/9の土日　述べ参加者　約90名

（2/22予定のイベントはコロナ感染拡大防止のため中止、オブジェのみ設置）

1. 水まち水前寺実行委員会主催「水前寺にぎわいまつり」への協賛